

*講演内容等一覧（人権課題の項目については法務省人権擁護局「人権の擁護」の「主な人権課題」を参考にしています）

番号	市町村名	氏名	人 権 課 題													講師からのメッセージ				
			部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がいのある人	アイヌの人々	外国人	感染症	ハンセン病患者・元患者・その家族	刑を終えて出所した人	犯罪被害者等	インターネットによる人権侵害	北朝鮮当局によって拉致された被害者等		ホームレス	性的マイノリティ	人身取引	震災等の災害に起因する人権問題
1	中津市	林 史 郎	○	○	○	○	○		○								○			中津市内で「いつでもどこでも何人でも」を基本に人権啓発活動を行っています。
2		菊 原 壮 太	○	○	○	○	○		○								○			中津市内で「いつでもどこでも何人でも」を基本に人権啓発活動を行っています。
3		榎 本 美穂子	○	○	○	○	○		○								○			中津市内で「いつでもどこでも何人でも」を基本に人権啓発活動を行っています。
4	豊後高田市	見矢野 あけみ	○																	ある教師とのであい、闘う仲間を知った。 今、差別をなくす為に自分に出来る事は何か…共に考えてみませんか。
5		近 藤 浩 二																	差別をなくすということ	「差別をなくすということ」とは、どういうことか、それはどのような状況なのかを一緒に考えてみませんか。「差別してない私」から「差別をなくす私」になるために。
6		今 熊 啓 司				○														少子高齢社会の中、私にとって最も身近な問題であり、終活のあり方も含め、共に考えたいと思います。未だ部落差別問題の解消ができていないとは言いたい現状を共に考えたいと思います。
7		後 藤 史 明	○				○										○			自分の学びを活動につなげ、「差別を許さない」取り組みを続けていきたいと思っています。
8	宇佐市	大久保 和 則	○	○	○	○	○		○								○		ハラスメント CSR	今も残る部落差別をはじめとする不条理な差別やいじめを、一日も早くなくしたいとの思いで、啓発活動に取り組んでいます。
9		さ お り	○																	私の経験や体験、両親が受けた部落差別、そして、今の自分について講演しているかと思っています。いつか差別がなくなる日が来ることを願い、私が少しでも伝えていくことが出来ればと思います。
10		矢 口 孝 芳	○		○	○	○		○		○									日々のコミュニケーション・生活における無意識の差別
11	杵築市	財 前 俊 弘	○																部落差別は過去の出来事ではなく、今も形を変えて残っています。部落問題学習教材が生まれた時代背景を手がかりに、当たり前と思ってきた認識を一緒に見つめ直す学びの内容です。	
12		松 縄 英 孝	○	○	○												○			人権侵害は古くからの言い伝えや、誤解・偏見によって起こることが多いと思います。人権侵害をなくすには正しく知ることが大切です。常に学び続け、正しい知識を身につけましょう。
13		峯 松 徹	○							○										自分の経験をお話します。それらを理解してもらい、人権感覚を養っていく過程での材料にしていきたいと思います。
14	日出町	林 東 洋一	○		○															「身近な人権」について、互いに「学び合い・語り合い」ながら、自分のこととして考え、新たな「気づき」が生まれればと考えています。
15		池 田 実																	人権総論	若い頃に障がいのある人々と活動し、主に福祉行政に携わり、今は主に性的マイノリティの人権問題と部落差別問題について学んでいます。
16	別府市	松 井 達 治			○	○														現役の走るサブ3薬剤師として、脳も身体も「いつまでも活き活きた人生を歩む」為のお手伝いをしたいです。「もう歳だから」「自分なんて」と思う子ども達や高齢者の自身や家族の方の人権をお伝えします。
17		神 田 憲 治					○													障がいのことは障がい当事者へお尋ねください。障がい者のお手伝いを通して小さなうちから思いやりの心。誰もが歩きやすい街づくり。
18		津 田 憲 吾			○		○													作業療法士として医療、福祉の現場を経験する中で、軽度発達障がい児の存在を知り、発達障がい専門学習塾「複合スペースmarble」を運営しています。第一線で子ども達と関わりながら、年間150件以上の子どもや大人の発達障がいに関する相談に対応しています。
19	大分市	マックビーン 光子	○	○	○	○	○		○	○							○		コミュニケーション アサーション 怒りのコントロール 自己肯定感のアップ ハラスメント アンコンシャスバイアス	「笑顔・感動・ほめる」をベースにした優しくわかりやすい内容です。一人一人が笑顔で輝いて生きることが人権につながっていきます。笑いヨガを挟み、参加者が元気で幸せな気持ちになっていただけるような人権講演です。
20		御手洗 詳子	○	○	○	○	○										○			「幸せになるために産まれてきた」をベースに、笑顔になり、温かな気持ちになるような優しい講演をお届けします。

■令和8（2026）年度 大分県人権問題講師団 講師一覧 【教育庁 講師派遣事業】

番号	市町村名	氏名	人権課題													講師からのメッセージ				
			部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がいのある人	アイヌの人々	外国人	感染症	ハンセン病患者・元患者・その家族	刑を終えて出所した人	犯罪被害者等	インターネットによる人権侵害	北朝鮮当局による拉致された被害者等		ホームレス	性的マイノリティ	人身取引	震災等に起因する人権問題
21	大分市	赤 峯 友 子	○	○	○	○	○		○	○									身近な人権 コミュニケーション デートDV	知らないということが差別や偏見を生むことにつながります。誰もが自分らしく幸せに生きることができるよう一人一人が気づき学ぶこと、そして学び続けることが大切です。
22		佐 藤 秀 一		○	○	○	○													人に笑顔を届けるために落語をしています。また、色々なことに挑戦してきた人生です。こうした経験を通して明るく楽しいお話をさせて頂きます。「笑って元気に!!」
23		工 藤 美奈子		○		○	○												ハラスメント問題全般	福祉専門職であり、人権について高齢者・障害者・女性の権利問題、及び「いじめやハラスメント」について知見を積んできました。私自身がハラスメント被害を体験した一人で著書の出版もしています。自分の価値観と違う他者に出会った時にどうするか？そういった内省する力も社会で生きる大切なスキルだと思っています。講師という立場より人の尊厳についてとも考えあう伝え方を心情に活動しています。
24		須 藤 里 美		○	○	○	○													笑顔と元気をお届けする「幸せ宅配便」ハッピー里ちゃんというネーミングで活動しています。絵本をベースに、その場の雰囲気楽しく講話。来て良かった～と思える場づくりに努めます。ダウン症の従兄弟のためにも障がい者に対する理解をしてもらいたいと思っております。
25		沓 掛 通 代		○	○		○					○								アウェイ育児による孤立や不安、障がいの気づいてもらえない苦しみ、虐待やDV（デートDV）が及ぼす影響、自尊感情を高め「命の大切さ」を感じていただけるよう自身の体験を織り交ぜながらお話をさせていただきます。
26		岩 川 義 枝		○			○													コミュニケーションは、言ったのではなく伝わったです。心の掛け違いでつらい思いをしている人は多くいます。ちょっとした思いやりの心で笑顔が生まれます。人間関係がスムーズに行く方法をワークをしながらお伝えします。
27		内 田 俊 晴			○	○						○								「怒り」で後悔しないようにアンガーマネジメントで怒りの感情と向き合い、ペップトークで前向きな言葉の力を身に付けて、自分も周りも健康的に幸せに生きるためのセミナー・講演会を実施します。さらに、講義やワークショップを通じて、若い世代や高齢者、労働者に消費者の権利について教育します。
28		牧 野 照 美			○	○														看護師歴46年。現在訪問看護をしています。認知症患者様家族、高齢者、施設職員、子育て中の母親、いじめ等自分の経験をもとに人権について アンガーマネジメント（怒りの扱い）をまじえてお話しします。
29		進 美保子		○	○	○						○				○			コミュニケーション アンコンシャスバイアス ハラスメント メンタルヘルス アンガーマネジメント 等	人と人が出会い心が打ち解ける時、人は自然と笑顔の花を咲かせます。どのような時間を重ねるかで心の距離は変わります。「笑顔の種まく〜魔法のコミュニケーション」をご一緒しませんか？コミュニケーションの鍵は「感情」です。落語を題材にした「答えは落語の中にあっ」シリーズでは、感情を紐解き笑いをプラス。新しい視点と発想で笑って泣いて心開いて人生をより良く生き生きと楽しみましょう。 ※(下手ですが)落語もできます。
30		安 藤 蘭 美		○	○	○						○							デートDV	自分を大切に、自信を持って毎日楽しく過ごせるように…心が楽になる考え方やほめる事の大切さについて絵本を使ってわかりやすくお話しします。 癒やしや気づきを感じてもらえる時間をお届けします。
31		岩 川 幸 造			○		○												自閉症をはじめとする発達障がい（神経発達症）	「どうして泣き続ける」「どうして寝てくれない」「なぜじっとしていられないのだろう」そんな疑問の解決の手助けになれば。。。。「もしかして自閉症。。。」異常さにも最初は気付かず必死で育てる日々が続きましたが、自閉スペクトラム症の娘も24歳となり明るく元気に暮らしています。療育で学んだ貴重な経験や「感覚過敏」の特性を体験ワークを交えながら、わかりやすくお伝えします。
32		U t a (うた)			○															子ども達も大人もみんなが「自分らしく幸せに」生きていけるように。世界基準の人権の考え方を、ピアノと歌と共に分かりやすくお伝えしています。 uta-song.jp
33		井 上 杉 夫	○	○	○	○	○					○					○		スマホ利用の注意点と ルールづくり	【元ポリロ師さぎちゃん】 警察官（刑事課長・生安課長等）を退職後にコロナ差別をなくす為に入権講師になりました。公務員の話って堅苦しくて面白くないから県南落語組合の矢野大和師匠に弟子入りしました。スマホ利用や女性差別、介護等身近な人権を楽しく聞いて下さい。
34		海 原 みどり		○	○	○														長年、地元放送局でアナウンサーとして勤務したキャリアを活かし、メディア現場での体験談を交えながら、＜言葉によるコミュニケーション＞を中心に人権啓発活動を行います。
35		吉 田 由 花			○															子どもの人権を知ることで、子どもを尊く感じると共に関わり方が見えてきます。またモンテッソーリ教育をベースとした「子どもの生きる力を育み、大人の共感力を高める【家庭教育法】」についてもお伝えします。
36		正 (利満) くにか		○	○	○											○		いじめ問題 セクハラ、パワハラ ハラスメント	いじめ問題、震災時の災害に起因する人権問題です。（体験談、「笑って人生」をテーマに命の保証がでない体験から）セクハラ・パワハラ・ハラスメント（体験談等、ワーク学習、紙芝居、絵本、語りを通して）
37		みえの まさみ		○	○	○										○			人権教育としての包括的性教育 デートDV SRHR	世界のスタンダードの包括的性教育は人間関係や性の健康、ジェンダー平等をベースとした人権教育です。ワークや体験学習を取り入れながら、心とからだ健康で幸せに生きていくために、まずは大人が知り、今日からできることを一緒に学んでいきます。
38		吉 本 寛 子		○															DV デートDV 面前DV	差別や暴力などを受けている女性や子どもなどの民間支援団体として、配偶者間の暴力（DV）や児童虐待（面前DV）などの当事者支援の経験を通してお話しします。研修や講演・参加型ワークショップなどご要望に応じた手法で理解を深めるためのアレンジをいたします。
39	原 田 英 夫	○																ハラスメント アンコンシャスバイアス	前職の医薬品総合商社では主に人事部門で勤務し、研修・講演は500回超実施してきました。そのスキルを活かし人権問題を「学ぶ」から解消に向け「行動する」を目的とし「考える」内容でお伝えします。	
40	佐 藤 淳 子			○															高校生たちとのボランティア活動や講座を行う中で得た「気づき」を皆さんと共有していきます。私たちがどのように関わると子どもたちは輝くのでしょうか。一緒に考えてみませんか？	
41	波多野 裕 美			○															大人向け・子ども向けのコーチング的な講座を用意し、多様性を尊重し、自分らしい成長をサポートします。 子どもの人権を尊重し、自己肯定感を育む内容で、自立・自律を促進し、目標達成を応援します。	

番号	市町村名	氏名	人権課題														講師からのメッセージ			
			部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がいのある人	アイヌの人々	外国人	感染症	ハンセン病患者・元患者・その家族	刑を終えて出所した人	犯罪被害者等	インターネットによる人権侵害	北朝鮮当局によって拉致された被害者等	ホームレス		性的マイノリティ	人身取引	震災等の災害に起因する人権問題
42	臼杵市	匹田 久美子	○	○	○												○			人権を「生きていく上で欠かせないもの」として、自分の暮らしや身近な人間関係に活かしてほしい。だれの心の中にもある偏見や思いこみに気づき、多様性を認め合う真に豊かな社会のあり方を考えたい。
43		柳井 信一	○		○		○													～いのち・つながる・つなぐ～という想いを基に、マジック（手品）を交えて楽しく語ります。生きることは、ちがいを認め合うことです。対話を通して「ともに生きる」ことの大切さを一緒に考えていきましょう。
44	津久見市	木村 武司	○		○		○				○									誤った思想や偏見が差別をうみ人権を侵害していることをパワーポイントを使ってわかりやすく説明します。そして、正しい理解が差別・偏見に感化されない人権意識をつくり言動も変えていくことをともに学びましょう。
45		岩崎 幸弥	○		○	○	○												○	気持ちが伝わるコミュニケーション 参加型学習（グループをつくってフリートークの井戸端会議）を取り入れながら、部落差別問題をはじめとした人権学習を進めます。
46	佐伯市	佐藤 丞	○				○				○						○			身近な人権、部落差別問題とその背景や起源のこと、性同一性障害の問題、外国人の人権、高齢者の問題では元気に活動している高齢者の生きざまを伝え問題解決を共に考えます。講座の中で大塚幸などの健康法も取り入れます。
47	豊後大野市	足立 直隆	○		○						○	○	○							現在、豊後大野市隣保館で指導員をしています。前職は法務省の矯正職員として38年間犯罪者や非行少年の教育に従事していました。その経験に基づいた人権課題や部落差別問題について、皆様と一緒に考えながら平易な言葉でお話させていただきます。
48		神田 幸子		○			○	○										○	認知症になっても障がいを持って、住み慣れた地域でその人らしく生きる地域づくりのボランティア活動をしています。現場の生の思いをお伝えできたらと思っています。	
49		三宮 信雄	○		○	○														六曜
50		渡邊 久洋	○																	私達は、自分自身も気がつかない間に差別心を刷り込まれている。その事に気づくことが人権問題の解決につながると思います。
51		三浦 芳行																		笑顔で身近な人権 人権の大切さを笑いを入れて伝え、笑顔と明るい言葉の必要性についてお話しします。
52	日田市	佐藤 康雄	○		○	○					○						○			コミュニケーションアサーション いじめ 自己肯定力 アンコンシャスバイアス 自己肯定力、感謝、自愛をキーワードに講話やワークショップの中心の気づきを見つめられる講座です。子ども達が自信とやる気を持たせる問いかけ方法や自己肯定感を伸ばす親子の関係構築、感情のコントロールなど大人が共感力を高め、子どもの自己承認を育むことを大切にするプログラムです。自分の悩みは誰かのヒントです。子ども達が自分の力で幸せに生きるために大事な事、今日から出来ることをお伝えします。
53		高倉 誠二	○																	人権学習 教科書無償の願い 教科書の無償化は、差別と貧困で苦しめられてきた被差別部落のお母さんたちの願いからでした。きっかけは修学旅行の船の沈没です。被差別部落の子どもに犠牲が多かったのはなぜか。親と子の心づなを考えます。
54	九重町	安藤 千恵美	○		○	○														音楽と人権 日常生活の中で感じる人権問題を音楽（歌）をとおして表現し、人権との出会い、人と人のつながりの大切さを伝えていきます。人権は“他人ごと”ではなく、自分の問題として「知る」「学ぶ」「伝える」ことを大切にしたい。
55	玖珠町	池部 小枝子	○	○	○						○	○	○					○		アンコンシャス・バイアス マイクロアグレッション 中学校の教諭・教頭・校長を経て2014年に定年退職をし、現在は保護員をしています。「人はなぜ、自分（たち）と違うと感じる人（外集団）を排斥してしまうのか」人権問題、差別の根っこをおさえた講演を心掛けています。「心を拓く」「自己肯定感」という視点の講演も可能です。

大分県人権問題講師団の活用には、

- ★ 県が費用を負担し講師を派遣する方法（講師派遣）
- ★ 主催者が講師費用を負担する方法（講師紹介） の2つがあります。

まずは、下記までお問い合わせください！

大分県教育庁 人権教育・部落差別解消推進課 (TEL 097-506-5555)



大分県人権啓発イメージキャラクター
こころちゃん